

科目名 Course Name	介護の基本Ⅲ Fundamentals of care III				ナンバリング No.	J2-005	
年次	1年	期別	後期	単位数	2	授業形態	講義
担当者氏名	秋山 巖						
連絡方法	C-ラーニングで対応。または福祉棟 2F 研究室。オフィスアワーは月・火・木・金曜日の授業担当時間以外。						
必修/選択	選択(介護福祉士養成課程は必修)						
関連 DP	DP2, DP3, DP4						
授業の概要と到達目標	<p>介護を必要とする人の生活の多様性や社会とのかかわりを理解する内容とする。介護を必要とする人の生活を支援するという観点から介護サービスや地域連携など、フォーマル、インフォーマルな支援を理解する内容とする。多職種協働による介護を実践するために、保健・医療・福祉に関する他の職種の専門性や役割と機能を理解する内容とする。</p> <p>①高齢者および障害のある人の生活の実際とその生活環境を説明できるようにする。                  ②高齢者および障害者に提供される介護サービスの具体的な内容を説明できるようにする。                  ③介護福祉士として、総合的に対応できる能力と洞察力を身につけることができるようにする。</p>						
授業の方法	講義の他、グループワーク、ディスカッションなどの演習も取り入れ、意見交換の場を通して自己の考えを深める。						
学習成果	L01						
	L02	利用者の生活の多様性・複雑性を説明することができる。					
	L03	介護サービスの具体的な内容を把握し、総合的な対応能力と洞察力を活かした利用者支援ができる。					
	L04						
課題に対するフィードバック	グループワークなどの演習後は、教員が講評しフィードバックする。						
教科書/参考図書	最新・介護福祉士養成講座 第4巻「介護の基本Ⅱ」 中央法規出版 その他、必要に応じて資料を配布する。						
履修上の留意点やルール等	<ul style="list-style-type: none"> <li>●日頃から高齢者や障害者の生活や福祉制度、サービス、地域福祉等に目を向けること。</li> <li>●目的意識をもって授業に取り組み、グループワークでは積極的に意見交換して欲しい。</li> <li>●飲食物や携帯電話等、教材以外のものは机の上に置かない。</li> <li>●やむを得ず欠席した場合は、速やかに届け出を提出すること。</li> <li>●事前・事後学習に費やすべき時間の目安は各回 180 分とする。</li> </ul>						
担当教員の実務経験							

成績評価の方法と基準					
評価の領域	評価基準	学習成果の割合			
		L01	L02	L03	L04
授業参加態度	S評価は、①授業で使用する教材を準備している。②授業に集中し、必要なことはノートにとっている。③グループワーク等の演習時は他学生の意見を聞いた上で、自分の考えを述べている。		30		
レポート/作品	S評価のレポートは、課題のテーマに沿って学びや気づきが具体的に記述されていること。自分の考えがまとめられていること。		10		
発表					
小テスト					
試験	高齢者や障害者の生活や関連制度・サービス、多職種協働に関する内容を中心に出题する。			60	
その他					
<b>合計</b>			40	60	

回数		授業計画
1	授業内容	ガイダンス(授業のねらいと進め方・成績評価の方法・欠席時の対応など)
	事前・事後学習	授業用のノートやファイルを準備する。シラバスを読み、授業内容を知る。授業での学習内容を整理する。
2	授業内容	介護を必要とする人の理解① 生活とは何か、生活の要素
	事前・事後学習	授業での学習内容をノートに整理する。テキストの該当ページを読む。
3	授業内容	介護を必要とする人の理解② その人らしさと生活ニーズ
	事前・事後学習	授業での学習内容をノートに整理する。テキストの該当ページを読む。
4	授業内容	介護を必要とする人の理解③ その人らしさの背景
	事前・事後学習	授業での学習内容をノートに整理する。テキストの該当ページを読む。
5	授業内容	介護を必要とする人の理解④ 生活ニーズの理解
	事前・事後学習	授業での学習内容をノートに整理する。テキストの該当ページを読む。
6	授業内容	介護を必要とする人の理解⑤ 生活ニーズを支援に活かす 【レポート:生活ニーズと支援について、提出期限は授業で指示する】
	事前・事後学習	授業での学習内容をノートに整理する。テキストの該当ページを読む。
7	授業内容	介護を必要とする人の生活を支えるしくみ① フォーマルサービス、インフォーマルサービス、介護保険制度の概要
	事前・事後学習	授業での学習内容をノートに整理する。テキストの該当ページを読む。「社会の理解 I」の内容(介護保険制度)を復習する。
8	授業内容	介護を必要とする人の生活を支えるしくみ② 介護保険制度サービスの活用
	事前・事後学習	授業での学習内容をノートに整理する。テキストの該当ページを読む。「社会の理解 I」の内容(介護保険制度)を復習する。
9	授業内容	介護を必要とする人の生活を支えるしくみ③ 高齢者の生活を支えるしくみ
	事前・事後学習	授業での学習内容をノートに整理する。テキストの該当ページを読む。「社会の理解 I」の内容(介護保険制度、社会保障制度等)を復習する。
10	授業内容	介護を必要とする人の生活を支えるしくみ④ 障害者総合支援法の概要
	事前・事後学習	授業での学習内容をノートに整理する。テキストの該当ページを読む。「社会の理解 II」の内容(障害者総合支援制度)を復習する。
11	授業内容	介護を必要とする人の生活を支えるしくみ⑤ 障害者総合支援法によるサービス
	事前・事後学習	授業での学習内容をノートに整理する。テキストの該当ページを読む。「社会の理解 II」の内容(障害者総合支援制度)を復習する。
12	授業内容	介護を必要とする人の生活を支えるしくみ⑥ 障害者の生活を支えるしくみ
	事前・事後学習	授業での学習内容をノートに整理する。テキストの該当ページを読む。「社会の理解 II」の内容(障害者総合支援制度、権利擁護制度等)を復習する。
13	授業内容	協働する多職種の機能と役割① 多職種連携・協働の必要性、求められる能力
	事前・事後学習	授業での学習内容をノートに整理する。テキストの該当ページを読む。
14	授業内容	協働する多職種の機能と役割② 保健・医療・福祉職の役割と機能
	事前・事後学習	授業での学習内容をノートに整理する。テキストの該当ページを読む。
15	授業内容	協働する多職種の機能と役割③ 多職種連携・協働の実際
	事前・事後学習	これまでの学習内容を整理する。テキストの該当ページを読む。